

草津市自殺対策行動計画における主な取組と実績について（H26～29）

基本方針	1.社会的な要因、地域の実態を把握し、情報共有に努めます		2.こころの健康づくりをすすめます		4.自殺予防の体制づくりを行います		
				3.一人ひとりの気づきと主体的な取り組みをすすめます			
基本施策	(1)自殺の実態を明らかにする	(2)情報を共有し総合的な自殺対策を推進する	(3)健やかなこころをはぐくむ	(4)孤立化しない地域づくりを行う	(5)ゲートキーパーを養成する	(6)相談支援のネットワークを構築する	(7)遺された人の苦痛をやわらげる
<p>主な取組と実績</p>	<p>●統計データ等による実態集計、分析 ⇒資料6・7ページ参照</p> <p>●自殺関係対応の実態を明らかにする ⇒個別支援(精神相談件数) H26 1,278件 H27 1,259件 H28 1,870件 H29 1,153件</p> <p>⇒湖南いのちサポート相談事業 H26 モデル事業による支援。事例検討会(3回) H27 9件(ケース会議11回) H28 18件(ケース会議21回) H29 21件(ケース会議34回)</p> <p>●市内大学との情報交換会 ⇒毎年開催。 大学内における対応の方法や情報集約についての体制づくりが課題。 ・相談窓口リーフレットの活用。 ・ゲートキーパー研修の活用と学内向け研修の開催について検討。 結果、職員対象研修開催。 H27 県主催 H29 大学・県・市共催</p>	<p>●自殺対策関係課会議の開催 ⇒自殺についての情報共有、自殺対策に係る事業の進捗報告、内容の協議。 (年2回開催)</p> <p>●自殺対策推進会議の開催 ⇒自殺の実情について情報共有し、関係機関の連携など具体的な施策の展開に関する検討ならびに実施後の情報交換。 (年2回開催)</p>	<p>●人権講座 ⇒地域まちづくりセンター等で人権意識の高揚に関する取組を実施した。 H26 各市民センターで2回程度開催 H27 各市民センターで2回程度開催 H28 実施回数:26回 参加人数:2,130人</p> <p>●企業内同和教育推進事業 ⇒企業啓発指導員を配置するとともに各種研修会を開催し、各企業訪問等の事業を実施した。 H26 研修会開催回数:6回 参加事業所数:330社 事業所訪問数:288社 H27 研修会開催回数:5回 参加事業所数:275社 事業所訪問数:288社 H28 研修会開催回数:6回 参加事業所数:356社 事業所訪問数:294社 H29 研修会開催回数:6回 参加事業所数:346社 事業所訪問数:295社</p> <p>●自殺予防デー街頭啓発 ⇒毎年、南草津駅前広場で実施。リーフレットとともに啓発物を配布。通勤・通学中の多くの市民に啓発できた。</p> <p>●広報紙による啓発 ⇒広報くさつ特集記事や市ホームページを随時更新。</p> <p>●青少年健全育成活動 ⇒草津市青少年育成市民会議の活動支援を通じ、地域ぐるみで青少年を見守り育てる環境づくりを行った。 各学区において、パトロール、挨拶運動等が実施された。</p>	<p>●育児等支援家庭訪問事業 ⇒H26 対象者 1,293人中 1,223人(95%) H27 対象者 1,314人中 1,251人(95%) H28 対象者 1,259人中 1,187人(94%) H29 対象者 1,292人中 1,204人(93%)</p> <p>●ひきこもり(閉じこもり)者への個別支援 ⇒H26～H29 松原学区礎プロジェクト事業として、長期欠席や中途退学の実態把握。関係機関と連携した対応。 ⇒保健師による個別相談 H26 相談件数 46件 H27 訪問 58件 電話 165件、面接 49件 H28 訪問 115件、 電話 43件、面接 25件 H29 訪問 81件、 電話 33件、面接 23件</p> <p>●孤立化防止対策事業(障害者世帯への訪問活動) ⇒H26～H29 民生委員児童委員等の地域の支援者に相談活動や見守り活動を依頼。 NPO法人によるサロンの開催や対象世帯への訪問等。</p> <p>●独居高齢者電話訪問事業 ⇒傾聴ボランティアによる独居高齢者の電話相談。担当民生委員児童委員・地域包括支援センターとも連携した。 H26 157件 H27 150件 H28 137件 H29 146件</p> <p>●移動困難者の運送支援 ⇒H26 送迎回数 350回 H27 送迎回数 303回 H28 送迎回数 269回 H29 山田学区 106人(延) 志津南学区 179人(延)</p>	<p>●市民等対象ゲートキーパー講座 ⇒毎年研修会を1～2回開催 H26～H29 参加者:457人</p> <p>●健康教育、出前講座など地域での研修や広報紙での啓発 ⇒H26 実施回数:1回 対象人数:5人 H27 商工会におけるメンタルヘルス研修:1回 H28 実施回数:2回 対象人数:35人 H29 実施回数:2回 対象人数:36人</p> <p>●教職員夏季研修講座の開催、生徒指導主事主任会における研修 ⇒H26 生徒指導研修開催 H27 夏期研修で2講座実施 H28 夏期研修で2講座実施 H29 夏期研修で2講座実施</p> <p>●職員向けゲートキーパー養成研修 ⇒毎年研修会を3～4回開催。 H26～H29 参加者:1,252人</p> <p>●大学等職員向け研修の開催 ⇒H29.12.15 龍谷大学瀬田キャンパスにて開催。 (立命館大学・龍谷大学・県・市共催) 参加人数:53人(県内行政機関、高校、大学等職員) 内容:「若年層自殺対策研修会一高等教育機関における自殺予防対策の構築にむけて」</p>	<p>●相談窓口の充実 ⇒H27 ぐらしのサポートセンター(H30 人とぐらしのサポートセンターに拡充) H28 子育て相談センター H29 女性の総合相談窓口</p> <p>⇒相談件数の増加 H24 年度 12,497件 H29 年度 14,634件</p> <p>●スクールカウンセラーの配置 ⇒H27 小中学校に10人配置 対応件数:773件 H28 小中学校に10人配置 H29 小中学校に10人配置 対応件数 1,687件 (うち保護者:272件)</p> <p>●問題行動対策委員会等の開催 ⇒週1回開催。 児童生徒の問題行動や不登校、学校不適応等の課題について、情報交換・指導や支援の方向性の確認等行う。</p> <p>⇒児童生徒の問題行動が減少 H26 886件 H27 721件 H28 561件 H29 420件</p> <p>●相談窓口リーフレットの作成および配布 ⇒配布先 ・相談窓口関係機関 ・企業同和推進協議会 ・商工会会員 ・医療機関 ・保育所、幼稚園、小中学校、高校、大学、転入手続者 ・妊娠届者 ・町内回覧 等</p>	<p>●遺族への個別支援 ⇒H28 相談 1件 H29 相談 2件</p> <p>●自死遺族会「風の会 おうみ」の周知・開催協力 ⇒H26 自死遺族フォーラム等の情報提供 H27 サテライト開催に協力 H28 定例会3回開催 H29 サテライト開催に協力</p>

				<p>●つどいの広場 ⇒H26～H29 各中学校区に子育て支援施設を開設しており、子育て親子が悩みを相談できる環境づくりを行った。</p>			
評価	<p>・保健所の死亡小票・地域自殺実態プロファイルデータ・自殺未遂者のケース分析から実態の集計分析ができた。 ・自殺念慮関係・未遂者についてはケース会議や市内大学との情報交換等を通して実態把握ができた。</p>	<p>・関係課会議や推進会議を開催することで、庁内関係課や市と関係機関・市民とが情報を共有しながら計画を推進できた。</p>	<p>・こころの健康づくりについて、地域に根差した取り組みが多く行われている。うつや自殺対策についての普及啓発・生きがいづくりの取組について、広報特集記事掲載や駅前啓発等計画通り実施できた。</p>	<p>・地域まちづくりセンターや隣保館といった地域の施設で講座やサロンを開催し、民生委員児童委員や健康推進員等により見守りや手助けが行われているなど、地域での取り組みが多く行われた。 ・ひきこもり者への個別支援や独居者への電話訪問事業・移動困難者への運送支援等孤立化しない支援が行われた。</p>	<p>・ゲートキーパー研修は毎年開催できており、参加人数についても目標指標の達成ができた。</p>	<p>・相談窓口リーフレットによる周知も進み、相談窓口の数は増え、相談しやすい体制づくりが進んだ。</p>	<p>・自死で大切な人を失った人の苦しさを和らげるため、凧の会の存在を広く周知し、参加しやすい環境づくりに努めた。</p>

